

平成 28 年度 ウミガメ保護のための保護柵の設置について

1) 目的

ウミガメの産卵巣の多い区域への人の立ち入りを防ぎ、子ガメのふ化率及び帰海率を上げるために設置するもの。

2) 設置内容

場所：① いなか浜（キャンプ場側、ハッピー下）【図 1】

② 前浜【図 2】

期間：① いなか浜

キャンプ場側…………… 4月30日～9月21日（145日間）

ハッピー下…………… 4月30日～9月1日（125日間）

② 前浜…………… 4月30日～9月21日（145日間）

規模：① いなか浜

キャンプ場側…………… 長さ約 150m 幅約 15m

ハッピー下…………… 長さ約 50m 幅約 15m

② 前浜…………… 長さ約 10m 幅約 10m

実施：① いなか浜

・キャンプ場側

設置（永田浜ウミガメ保全協議会構成団体・機関、NPO 法人屋久島うみがめ館）

撤去（屋久島町、鹿児島県、環境省）

・ハッピー下

設置（永田浜ウミガメ保全協議会構成団体・機関、NPO 法人屋久島うみがめ館）

撤去（NPO 法人屋久島うみがめ館）

② 前浜

設置（永田浜ウミガメ保全協議会構成団体・機関、NPO 法人屋久島うみがめ館）

撤去（屋久島町、鹿児島県、環境省）

3) 高波の影響による縮小と撤去

① 8月31日

・台風 10 号による高波の影響で砂浜が消失し、保護柵の流出が懸念されたため、うみがめ館でハッピー下の保護柵を縮小。

② 9月1日

・高波により保護柵が流出しかけたため、うみがめ館でハッピー下の保護柵を撤去。

③ 9月21日

・台風 16 号による高波の影響でキャンプ場側の保護柵のほとんどが流出したため、屋久島町、鹿児島県、環境省で、キャンプ場側と前浜の保護柵を緊急撤去。

4) 特記事項

- ・いなか浜入口からキャンプ場入口までは、砂浜の幅が狭く例年台風時期に波風により柵の設置場所まで砂が消失してしまうことと、浜利用者が多く柵内に入る人もいることから、今年度は卵の移植対象場所とし、保護柵設置除外範囲とした。【図1】
- ・保護柵に使用した杭 16 本は屋久島町役場宮之浦支所の保健センター倉庫で保管する。
- ・流失や腐朽によって不足した杭については、樹脂ポールを代替に購入を検討する（屋久島町が検討中）。
- ・来年度保護柵の場所・面積は変更の必要はないとみている。
- ・保護柵の管理については、設置者である保全協議会の構成機関・団体がさらに徹底して行うべき。特に台風の前後は注意する。

図1. いなか浜の保護柵位置図



図2. 前浜の保護柵位置図

